

韓国における地域看護活動：教会を基盤とした Parish Nurse とその実践

都筑千景, 岩本里織, 小倉弥生, 成瀬和子, 宇多みどり, 山下 正, 金川克子

神戸市看護大学

キーワード：地域看護, Parish Nurse (牧会看護), スピリチュアルケア, 教会, 韓国

Community Health Nursing Activities in South Korea : Parish Nursing Practice Based on Church.

Chikage TSUZUKI, Saori IWAMOTO, Yayoi OGURA, Kazuko NARUSE, Midori UDA,
Tadashi YAMASHITA, Katsuko KANAGAWA

Kobe City College of Nursing

Key words : community health nursing, parish nurse, spiritual care, church, South Korea

1. はじめに

韓国統計庁の調査によると、韓国の宗教人口は約2,500万人(2005年時点)で、全人口の約53%を占めている。その中でカトリックとプロテスタントを合わせたキリスト教信者は全人口の約3割であり、アジアではフィリピンに次いで多い割合となっている。キリスト教会(以下、教会とする)には信仰とともに看護活動を行う Parish Nurse (日本語では牧会看護師と翻訳されている)という看護職が存在し、韓国においてその導入が進んできている。2011年7月、著者らが所属する神戸市看護大学において第2回日韓地域看護学会が開催され、韓国の地域看護活動・教育に従事する看護職者と交流を図る機会を得た。その縁で、韓国で Parish Nurse 活動を最初にスタートさせた大邱(テグ)市にある啓明大学看護大学 Chungnam Kim 教授、大

邱市内唐(ネダン)教会 Parish Nurse の Youngok Lee 氏、趙牧師に協力いただき、啓明大学校と大邱市の教会において現地調査を実施した。本稿では現地における聞き取りと資料収集から、教会を基盤として活動する Parish Nurse とは何か、また韓国における Parish Nurse の導入経過、養成そしてその実践活動について紹介する。

(1) Parish Nurse とは

教会はプライマリヘルスケアのための保健医療の人材、ボランティアおよび資金など豊富な資源を持っている。Parish Nursing は、教会が癒しと健康管理を担当してきた長年の歴史的根拠をもとにして開始された専門的活動である。International Parish Nurse Resource Center : 国際パリスシュナースリソースセンター



図1. 韓国地図 ソウルと大邱



写真1. 内唐教会にて(右端から Lee 氏、Kim 教授、趙牧師、著者ら)

(2012)によると、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどのほか、世界中の23か国で活動を行っている。Parish Nurse の要件として、2年以上の看護臨床経験を持ち、標準化されたコアカリキュラムに基づいた専門教育を受講した看護師であることが示されている。もちろん、深い信仰心と優れた人格の持ち主であることはいうまでもない。Parish Nurse の役割として、精神的ケアに重点を置き、健康増進・疾病予防サービスを提供すること、複雑なヘルスケアシステムと人々をつなぎ、信仰と健康との統合を手助けすることなどがあげられている。

(2) 韓国における Parish Nurse の導入と展開

韓国での Parish Nurse の最初の導入は1995年、大邱市にある啓明大学校においてであった。啓明大学校看護大学の Kim 教授は、都市のスラム地域の地域住民の総合的な健康管理に関心が高く、彼らの文化に適合した健康管理方法を見つけ、これを適用することに労力を傾けてきた(Kim, 2012)。1993年12月に看護大学として Parish Nurse 活動事業に取り組むことを決定、1994年に Parish Nurse の基金募金を開始、そして1995年2月に韓国初の Parish Nursing Center を啓明大学校に開設した。Kwon ら(1995)によると、大邱地域における牧師の94.6%が Parish Nurse の必要性について同意し、86.2%は環境が許せば採用すると回答したということであり、そのニーズは大きいものであったといえる。

その後、大邱地域での Parish Nurse の導入が進み、1995年3月には大邱の3つの教会で一人の Parish Nurse による看護活動モデル事業が開始された。1999年には大邱の6つの教会においても Parish Nursing 事業が実施されるようになった。また、啓明大学校の Parish Nursing Center は1998年から行われていた一次保健医療宣教事業と合併し、韓国で最初のコミュニティベースの Parish Nursing Center となり、現在もその活動を続けている。そのほかの地域では1998年に慶尚南道、1999年にソウルにおいて Parish Nursing 事業がスタートし、Parish Nurse 活動は韓国全土に広がりを見せている。今後の計画として、啓明大学校では、2013年までに12の教会と4つの福祉館(低所得者層を中心とした地域福祉サービスの拠点)に Parish Nursing 事業の開始、4つの地域に Parish Nursing Center の開設を検討しており、さらにアジアの Parish Nurse Resource Center として役割を果たすため、国際交流やアジアの現地への Parish Nurse 派遣、情報や教育の提供などの取り組みも行っ

ている。

Parish Nursing の今後の展望として Kim 教授は、Parish Nursing の基盤を確固としたものにするための法的整備や Parish Nursing 活動の保険体系の確立を課題としてあげている。

(3) 韓国での Parish Nurse の養成

①養成機関とプログラム時間

韓国で最初に Parish Nurse の養成を行ったのも啓明大学校看護大学である。はじめは、1995年にアメリカのアイオワ州 Methodist Health Network の支援を得て資格プログラムを開催したが、その半年後には啓明大学校看護大学主催の養成を開始し、25人の Parish Nurse を誕生させた。教育は専門職業訓練としての位置づけであり、啓明大学校では計120時間のプログラムを実施している。また、啓明大学校看護大学では看護実務経験者が多いため大学院の科目にも Parish Nursing の科目を3単位開設している。

続いて他の大学でも Parish Nurse の養成が開始され、現在(2012年時点)4つの大学で養成が行われている。現在までにおよそ500人の修了生が誕生しているが、実際に Parish Nurse として仕事についている看護師は少ないということである。

②教育内容

啓明大学校における Parish Nurse のカリキュラムを表1に示した。総時間数は120時間であり、その内容には Parish Nurse の歴史・哲学、教会の看護組織、教会におけるプライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションなどのほか、ホスピス看護、カウンセリング、子どものケア、うつ・飲酒の問題・DV・自殺などの予防管理、疾病予防管理、家族看護、ケアコーディネーションなどの看護実践科目および教会での実習が組み込まれている。

(4) Parish Nurse の実践内容とニーズ

国際パブリッシュナースリソースセンター(2012)によると、Parish Nurse の実践内容として、信仰と健康のインテグレーター、パーソナルヘルスカウンセラー、健康教育者としての活動の他、サポートグループの開発、リソースの紹介、健康擁護などが示されている。韓国においては、スピリチュアル看護の重要性を強調している欧米とは異なり、教区コミュニティにおけるホームケアナーシング実践の役割が強調されている。

韓国のある教区コミュニティの調査によると、90.3%の人が Parish Nursing を実施する必要があると回

答しているとの報告であった (Shin ら, 1994)。また、Parish Nurse に期待する役割としては、健康相談、健康に関する情報提供と教育、健康チェック、疾患を持つ信者の訪問、高齢者の健康管理等であった (表2)。さらに対象者の具体的なニーズを表3に示した。健康管理や食事の方法、健康相談、定期的な健康チェック、

実践的な看護処置やケアの実施、看取りやターミナルケアの他、信仰に関連したスピリチュアルケアの内容まで幅広く求められていた。その対象は、妊産婦から新生児、子ども、成人、老人まであらゆる年齢層に広がっていた。

一方、教会の牧師側からみた Parish Nurse に期待す

表 1. 啓明大学校看護大学 Parish Nurse 養成課程プログラム (計120時間)

DAY	(09:00-09:50)	(10:00-10:50)	(11:00-11:50)	(12:00-12:50)	(13:30-14:20)	(14:30-15:20)	(15:30-16:20)	(16:30-17:20)	(17:30-18:20)
1	opening worship	orientation 1)curriculum 2)parish nursing organization	history&philosophy of parish nursing		hospice nursing I		recording & paperwork	parish nursing at Namsan church	parish nursing Nedang prevention church
2	team ministry: parish nurses & ministers		primary health care & parish nursing		hospice nursing II		healthcare for children	parish nursing: nursing process	parish nursing: intervention
3	clinical pastoral counseling		ethic & law of parish nursing		complemental therapy		develop community resource & referral system		parish nursing: Buckseong church intervention
4	prevention & management: arthritis back pain		volunteer :education & utilization		communication skill		standard & scope of parish nursing		Namsan community based parish nursing
5	prevention & management: hypertension & diabetic problem		wholistic health & inner healing		congregational health promotion program		health care for teens: violence prevention & health issue		parish nursing: Euncheon church
6	family health nursing		parish nursing carecoordination		spiritual health nursing I		cancer prevention & management		parish nursing: Nedang church
7	spiritual health nursing II		tools and techniques for parish nursing Practice		prevention & management: family violence • alcoholic		prevention & management: depression • suicide		environmental & social safety management
8	parish nursing: Seongne church by nurse	parish nursing: Seongne church by minister	parish nursing onsite practice at Seongne church						
9	health check ups for congregational members	holistic health care model	prevention & management: cerebro cardiac disease		graduation ceremony		health fair & health check ups	meeting with congregational members & ministers for project expansion	

出典:Keimyung University School of Nursing(2012). Keimyung parish nurse professional training course.

表2. 教区コミュニティ住民が Parish Nurse に期待する役割

役割	実数(%)
個人の健康相談	255 (68.9)
情報提供と教育	225 (60.8)
定期的な健康チェック	230 (62.2)
疾病を持つ信者の訪問	230 (62.2)
妊娠中の健康管理	89 (24.1)
0歳児の健康管理	94 (25.4)
老人の健康管理	194 (52.4)
看取り	151 (40.8)
信者のボランティア組織に対する訓練	129 (34.9)
医療機関の紹介・案内	125 (33.8)
その他	23 (6.2)

出典: Shinら(1994)

表3. 対象者の Parish Nurse に対するニーズ

(n=370)		
看護ニーズ	内容	実数(%)
健康	がん予防及び管理	240 (64.9)
	高血圧・心臓病の管理	220 (59.5)
	糖尿病予防管理	199 (53.8)
	妊産婦の健康管理	73 (19.7)
	ストレスの管理	202 (54.6)
	育児	79 (21.4)
	更年期障害	155 (41.9)
	栄養と食事療法	174 (47.0)
	応急処置の方法	210 (56.8)
	健康体操の方法	139 (37.6)
	死に対する準備教育	136 (36.8)
	安全管理	147 (39.7)
	その他	195 (52.7)
	健康相談	禁煙
飲酒の問題		103 (27.8)
夫婦の葛藤		122 (33.0)
子どもとの対話		195 (52.7)
嫁姑の葛藤		83 (22.4)
その他		31 (8.4)
定期的な健康チェック	身体検診	236 (63.8)
	血圧測定	202 (54.6)
	バイタルサインチェック	149 (40.3)
	血糖値測定	178 (48.1)
	体重測定	93 (25.1)
	その他	27 (7.3)
疾病を持つ信者の訪問	外傷処置	136 (36.8)
	清潔・保清	88 (23.8)
	褥瘡予防・マッサージ	107 (28.9)
	冷罨法	100 (27.0)
	疾病管理と合併症予防教育	218 (58.9)
	家庭環境管理	170 (45.9)
	浣腸	39 (10.5)
	その他	19 (5.1)
妊産婦の健康管理	妊娠中の管理	154 (41.6)
	栄養管理	91 (24.6)
	分娩時の呼吸法	87 (23.5)
	産後管理	150 (40.5)
	その他	19 (5.1)
0歳児の健康管理	新生児健康管理	159 (42.7)
	予防接種	163 (44.1)
	授乳・離乳食	132 (35.7)
	安全管理	147 (39.7)
	その他	22 (5.9)
老人の健康管理	訪問・話し相手	197 (53.2)
	医療機関への同行	131 (35.4)
	食事介助	75 (20.3)
	動きが鈍い人に運動をさせる	201 (54.3)
	痛みの管理	178 (48.1)
	その他	24 (6.5)
看取り	ターミナルケア	300 (81.1)
	死後のケア	142 (38.4)
	遺族ケア	108 (29.2)
スピリチュアル看護	祈祷	283 (76.5)
	聖書朗読	225 (60.8)
	賛美歌	204 (55.1)
	説教テープを聴く	125 (33.8)
	聖職者に連絡する	153 (41.4)
	希望しない	19 (5.1)
	その他	21 (5.7)

出典: Shinら(1994)

る役割については、教区コミュニティ住民とほぼ同じく、健康相談、健康チェック、高齢者の健康管理、健康に関する情報提供と教育、ホスピス看護、疾患を持つ信者の訪問などがあげられていた。具体的な内容には、高血圧・心疾患や糖尿病予防管理、ストレス管理、薬物乱用防止、飲酒の問題、夫婦間の問題などの項目があった (Kwon ら, 1995)。

実際の Parish Nurse の業務活動内容について表 4、訪問看護内容について表 5 に示した。業務内容は訪問看護、健康チェック、健康教育、照会・依頼、会議出席、補習教育及びセミナー参加、ボランティアの調整と訓練の 7 つの活動に分類された。訪問看護活動については、直接看護とスピリチュアル看護がそのほとんどを占め、中でも健康状態確認や投薬などの直接看護活動が一番多く、どの教会でも 6～7 割を占めていた (Kim ら, 1996)。

(5) 内唐教会における Parish Nurse 活動の実際

大邱市にある内唐教会は、1995年3月に Parish Nursing モデル事業を開始した教会であり、かつ韓国で最初に Parish Nurse を置いた教会である。

内唐教会はプロテスタント長老派教会で、スタッフは牧師 1 人、副牧師 5 人、伝導士 1 人、教育担当者 6 人、有給 Parish Nurse が 1 人である。そのほかに、ボランティア (無給) の Parish Nurse が 10 名程度いる。そのうち、牧師と副牧師は教会内で生活をしている。教



写真 2. 内唐教会外観

表 4. Parish Nurse の業務活動内容

活動区分	詳細	A教会 活動内容数(%)	B教会 活動内容数(%)	C教会 活動内容数(%)
1訪問看護 (再掲)	家庭訪問	254(35.3)	164(36.0)	171(27.5)
	病院訪問	63(8.8)	26(5.7)	59(9.5)
	電話訪問	54(7.5)	61(13.4)	36(5.8)
2.健康チェック		93(13.0)	55(12.1)	139(22.3)
3.健康教育		97(13.5)	60(13.2)	113(18.2)
4.照会・依頼		10(1.4)	19(4.2)	15(2.4)
5.会議参加		135(18.8)	59(13.0)	76(12.2)
6.補習教育		11(1.5)	10(2.2)	13(2.1)
7.ボランティアの調整と訓練		2(0.2)	2(0.3)	0(0.0)
	計	719(100.0)	456(100.0)	622(100.0)

出典: Kimら(1996)

表 5. 訪問看護活動の具体的内容

内容	内容	A教会	B教会	C教会
		活動内容数(%)	活動内容数(%)	活動内容数(%)
直接看護	健康状態把握	156(42.0)	101(40.2)	87(32.7)
	運動療法	45(12.1)	36(14.3)	35(13.2)
	個人衛生(管理)	13(3.5)	8(3.2)	8(3.0)
	体温維持	11(3.0)	0(0.0)	11(4.1)
	投薬	12(3.2)	15(6.0)	19(7.1)
	栄養管理	24(6.5)	15(6.0)	19(7.1)
	小計	261(70.4)	174(69.3)	171(64.3)
スピリチュアルケア	信仰相談	4(1.1)	6(2.4)	21(7.9)
	お言葉*	6(1.6)	7(2.8)	7(2.6)
	スピリチュアルな支持	62(16.7)	40(16.0)	33(12.4)
小計	72(19.4)	53(21.1)	61(23.0)	
その他		38(10.2)	24(9.6)	34(12.8)
計		371	251	266

*(牧師が聖書のお言葉を教え勧める)

区の信者数は約2,000人であり、基本的に信者すべてが Parish Nursing の対象である。特に重点を置いている対象者は基礎生活保障受給者（わが国の生活保護受給者に相当）もしくは低所得者層、一人暮らし高齢者、障がい者、シングル家庭、疾患を持つ人や子どもだけの家庭などであるが、それ以外にも看護が必要な人がいれば、信者でなくても伝道のために看護活動を行うことにしている。

今回インタビューさせていただいた Lee 氏はこの教会に勤める有給の Parish Nurse である。彼女は敬虔なキリスト教信者であり、啓明大学校にて120時間のプログラムを受講した後 Parish Nurse となった。彼女はこの教会ともう一つの教会を兼任しており、週2日9時30分から18時まで、日曜は午前中のみという体制で勤務しているが、必要があれば夜間でも看護活動を行っている。活動は一人で行うが、ボランティアの Parish Nurse や教区内に150人程度いるそれぞれの教区長が彼女の活動を支援している。

内唐教会で行う Parish Nursing 看護活動の対象者および活動内容について表6に示した。活動を行うのは、教会内にある専用の部屋である。基本的には Parish Nurse は教会におり、そこで来られた方の血圧などを測定したり、相談したりしながら対象者の健康状態を把握する。1人暮らしの人や身体の不自由な人には家庭訪問を実施する。また、在宅者に対してだけでなく、療養病院と呼ばれる高齢者専門病院や施設に入所

している高齢者に対しても訪問を行う。主な看護内容は心身のケアであるが、必要時には医療機関や保健所等へのケースの照会や依頼も行っている。

保健所などの公的機関が行う看護活動と Parish Nurse が行う活動の違いについては、Lee 氏によると、「地域（行政）における看護活動と Parish Nurse の活動は異なるものであり次元が違うもの」であるという。また、教会の牧師によれば、教会は牧師がスピリチュアルケアを行うところであるが、その中には心身が健康でない人もおり、スピリチュアルケアだけでは解決できない問題も多かった。しかし、Parish Nurse を導入し心身のケアとスピリチュアルケアを一緒に行うことで対象者の問題解決は向上し、牧師の負担も軽減した。また地域の方にも喜ばれており、導入してよかったと感じているということであった。つまり、教会はスピ



写真3. 内唐教会 Parish Nursing Center

表6. 内唐教会 Parish Nursing Center における対象者および活動内容

対象者	1～3教区の独居老人、障害者、シングル家庭、子どもだけの家庭、疾患を持つ家族がいる家庭
活動内容	家庭訪問看護など、住民の健康を世話する看護宣教活動 1. 保健教育事業 保健教育の実施、個人の健康管理能力の向上及び疾病の予防 2. 訪問看護事業 身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな看護を遂行 3. 健康診査と相談事業 血圧、血糖、貧血測定など健康基礎検査、疾病相談、および医療情報提供を通じた健康問題の解決 4. 福祉事業 栄養管理、医療費の支援、奨学金の支援、生活支援 5. 資源開発および連携機関の案内 個人、団体、教会、病院、福祉機関、認知症センター、養老院 6. 宣教活動 ホスピス、スピリチュアルな看護の提供、聖書学習グループの指導、家庭礼拝、祈禱、讃美歌・説教テープの提供、伝道 7. 実習生の指導 啓明大学校看護大学生に対する実習指導：地域社会看護学及びスピリチュアル看護学の実習 啓明大学校医科大学生に対する実習指導：人間性教育の実習

出典：啓明大学校看護大学 Parish Nurse Center プライマリーヘルスケア&伝道プロジェクト パンフレットより

リチュアルケアと心身のケアの両方を行うところであり、保健所など公的機関が行っている看護とは根本的に異なるという回答であった。というのは、公的機関ではスピリチュアルケアはほとんど提供されていない。また公的機関においてはすべての人を対象とすることは難しい。特に韓国では、基礎生活保障受給者には行政の手が届きやすいが、それ以外の低所得者層や問題のある家庭などには十分サービスが届きにくい現状がある。一方、教会は生活レベルに関わらずすべての信者を対象としており、スピリチュアルケアを含めた看護を提供している。例えば生活レベルが高くて問題が多く、スピリチュアルケアを必要としている家庭はある。実際にも Parish Nurse はあらゆる生活レベルの方に看護を提供しているということであった。

また Parish Nurse が一人でどのように看護の必要な人を把握しているかについて尋ねたところ、Parish Nurse の活動をサポートしてくれる教区長が、区域内の信者や家庭での様子を熟知しており、例えば日曜礼拝に出席したか、家族の中で誰と誰が喧嘩をしたか、といった細かな情報までも伝えてくれるため、誰かが看護が必要となる事態が生じた場合は教区長から状況を把握することができるということであった。地域の教区の中でしっかりと根を張っている Parish Nurse 実践の様子がうかがえる内容であった。

おわりに

韓国ではキリスト教徒の割合が全人口の約3割ということもあり、Parish Nurse の活動が少しずつ進んできていることがうかがえた。実際のところ、教会での実務者はまだ少ないということであったが、それは Parish Nurse の法的整備がなく、内唐教会の例からも無給ボランティアとしての位置づけも多い（1名が有給、10名が無給）ことが影響していると考えられた。しかしながら、啓明大学校では Parish Nurse のコース以外にも大学院での科目開設も行われており、Parish Nurse の行うスピリチュアルケアを学んだ看護職者はその重要性を十分に認識し、教会に限らず自らの看護実践の中で活用していくことが期待されると考える。

一方、日本ではキリスト教徒の割合が韓国に比べて低く、宗教そのもののとらえ方や宗教的背景が異なることから、Parish Nurse の導入や Parish Nurse 活動実践は難しいかも知れない。韓国に日本からの視察が来てい

るという話も聞いたが、日本での Parish Nurse 活動や実践報告を見つけることはできなかった。しかし、Lee 氏が語るように、スピリチュアルケアが看護実践の重要な要素の一つと筆者からも考えるが、日本の地域看護活動の中でその重要性が十分認識されているとはいえない現状にある。高齢化が進み、在宅での看取りや地域での療養生活の増加がますます見込まれる今、スピリチュアルケアをどのように取り入れていくかは、これからの地域看護実践の新しい課題であろう。

文献

- International Parish Nurse Resource Center (国際パリス・シュナースリソースセンター) ホームページ. 検索月日2012年2月27日, http://www.parishnurses.org/InternationalParishNursing_229.aspx
- KBS WORLD ホームページ. 検索月日2013年1月16日, http://world.kbs.co.kr/japanese/korea/korea_aboutreligion.htm
- Kim, C, Park, JS, Kwon, YS (1996). Analysis of Church based parish nursing activities in Teagu city. The J. of Korean Community Nursing: 384-399.
- Kim, C (2012). The Present Status and Future Prospects of Parish Nursing in Korea (Keimyung Experience). (Personal Contact)
- Kwon, YS, Kim, C (1995). Paster's Role Expectations from Parish Nurses. Journal of Korean Community Health Nursing: 1-20.
- Shin, Y, Park, YS, Park, JS, Park, et. al. (1994). Need Assessments : Parish Nurse Program. Keimyung University School of Nursing (Personal contact)

(受付：2012.11.27；受理：2013.2.5)